

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「学習に問題をかかえる児童の特別教育センター建設計画」竣工式

2011年6月22日、在パナマ日本国大使館は、バロラテ協会との間で「学習に問題をかかえる児童の特別教育センター建設計画」竣工式をコクレ県アグアドゥルセ市のバロラテ協会教育センターにて行いました。

竣工式には、スーシー・デ・バレーラ社会開発庁次官、フェルナンド・ヌニェス・コクレ県知事、アナ・マリア・デ・バレーラ協会会長、及び水城幾雄大使ほか、多くの方が参列されました。

スピーチの冒頭で水城大使は、11日に発生した「東日本大震災」について、マルティネリ大統領をはじめパナマ各界からのお見舞いと協力の申し出に対し、感謝の意を表しました。また、パナマでは、注意欠陥・多動性障害により学習に問題をかかえる児童に対する支援が十分でないことを知り、バロラテ協会への支援を決めたこと、今回のプロジェクトが、教育環境の改善の一助となれば幸いであると述べました。

また、アナ会長は、学習に問題をかかえる児童が、将来的に少年犯罪に巻き込まれず、学校で勉強を続けていくには、両親や精神科医、栄養士などのサポートが必要であると、そのためのセミナーや公演を開催できること、また、当教育センターへ通う子供が40人から70人に増えたことは、日本大使館の援助のおかげである、と感謝の言葉を述べられました。



左から:スーシー次官、アナ会長、水城大使

水城大使とスーシー次官、バロラテ協会職員

プロジェクトの内容

被供与団体：バロラテ協会 (Fundación Valórate)

供与内容：教育センター建設費用 (97,000 ドル≒9,991,000 円)

(建設内容：受付、図書室、教室(5)、コンピューター室、心理室、トイレ、物置、台所、食堂)

概要：被供与団体は学習能力あるいは注意力に問題を生じる児童が適切な教育を受けられることを目的として2005年に設立された団体であり、現在パナマ市内の事務所を拠点として国内2箇所(アグアドゥルセ市、ペセ市)の教育センターで活動している。しかしながら、アグアドゥルセ市内で現在使用している施設は同協会が賃貸で借りており、支払いに困難を生じ、新設を計画していたが十分な資金を調達できずいたため、協力要請をしてきた。現在、施設には毎週40～50人の児童が通設しており、新施設建設完了後も児童たちは、引き続き無料でサービスを受けることができる。